

F 研究企画・調整・情報システム・出版・広報

1. 研究の企画・調整・評価

(1) 農業研究本部場長会議

1) 第1回農業研究本部場長会議

期日：令和5年5月10日(水) 13:00～

場所：かでの2・7 1070 会議室

議題：

① 協議事項

- ・第4期中期計画へ向けた農業研究本部の対応について

② 報告事項

- ・令和5年度北海道農業試験会議（新規課題検討会議）

の開催について

- ・人を対象とする研究に関する倫理指針への対応について

- ・研究成果刊行物について

- ・令和5年度研究職員研修等について

③ その他

- ・技術普及室職員に係る道総研情報システムの利用について

2) 第2回農業研究本部場長会議

期日：令和5年6月9日(金) 13:00～

場所：農政部大会議室

議題：

① 協議事項

- ・人を対象とする研究に関する倫理指針への対応について

② 報告事項

- ・令和6年度新規課題設定に係る検討経過について

- ・令和5年度開始公募型研究課題の応募・採択状況について

- ・地域農業技術支援について

- ・年度計画に係る自己点検・評価について

- ・庁舎整備に係る情勢報告について

③ その他

- ・工業試験場生産性向上研修

3) 第3回農業研究本部場長会議

期日：令和5年9月29日(金) 13:30～

場所：Zoom 接続によるオンライン開催

議題：

① 協議事項

- ・令和6年度経常研究費に係る新規課題予算について

- ・業務車事故への対応に向けた今後の対応(案)について

- ・ピアカフェ掲載に係る協力依頼について

② 報告事項

- ・第4期中期計画に向けた農業研究本部の対応について

- ・令和6年度当初予算（一般管理費）について

- ・令和5年度農業研究本部場別試験研究費について

- ・第4期戦略研究に係る検討経過について

- ・職員研究奨励事業の募集について

- ・「みどりの食料システム戦略」技術カタログへの対応について

- ・インターンシップについて

- ・令和5年度農業研究本部独自研修について

- ・農業研究本部長表彰について

- ・令和6年度研究職員の採用予定について

- ・令和5年度下半期の主な予定について

③ その他

- ・大豆間作小麦栽培について

- ・道新文化賞（水稻育種）について

4) 第4回農業研究本部場長会議

期日：令和5年11月6日(月) 13:30～

場所：かでの2・7 510 会議室

議題：

① 協議事項

(なし)

② 報告事項

- ・トラクターの整備要求に係る検討状況について

- ・情報セキュリティ対策強化に係る検討経過について

- ・農業研究本部長表彰実施要領の改正について

③ その他

- ・道新文化賞の副賞について

- ・研究功労者表彰の推薦について

5) 第5回農業研究本部場長会議

期日：令和6年1月18日(木) 10:30～

場所：Zoom 接続によるオンライン開催

議題：

① 協議事項

- ・「革新的技術導入による地域支援」の終了課題について

② 報告事項

- ・第37回植物遺伝資源連絡委員会における協議結果について
- ・農業研究本部長表彰について
- ・地球温暖化に対応する技術開発・普及に関する検討会への対応について
- ・令和6年度 組織機構について
- ・令和5年度農業研究本部保留額の解除について

③その他
(なし)

6) 第6回農業研究本部場長会議

期日：令和6年3月19日(火) 14:00～
場所：農政部第一中会議室
議題：

①協議事項

・「革新的技術導入による地域支援」(経常(各部))の進行状況について

・令和6年度予算の売払収入の扱いについて

②報告事項

・令和5年度農業研究推進事業について

・第4期中期計画に向けた検討状況について

・令和6年度の新規実施課題について

・地域農業技術センター連絡会議(NATEC)の活動状況について

・令和5年度 試験研究用備品の導入実績および今後の予定について

・令和5年度施設等整備の実績及び令和6年度以降の予定について

・労災事故・交通事故の傾向について

・令和6年度の主な日程(案)について

③その他
(なし)

(2) 研究調整会議

1) 第1回研究調整会議

期日：令和5年4月21日(金) 13:00～
場所：中央農試講堂

① 協議事項

・令和5年度北海道農業試験会議(新規課題検討会議)の開催について

・設計会議概要書印刷に係る場別予算負担について

・第4期中期計画に向けた農研本部の対応について

・秋まき小麦設計会議の開催方法について

②報告事項

・地域農業技術支援について

・令和5年度地域要望課題の概要について

・経常研究に係る令和5年度終了課題について

・外部資金について

・職員研究奨励事業について

・研究開発推進費について

・令和5年度の主な日程について

③その他
(なし)

2) 第2回研究調整会議

期日：令和5年6月21日(水) 13:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和6年度の新規課題検討及び調整について

②報告事項

・令和4年度研究課題事後評価(経常研究等)の結果について

・令和5年度実施課題における優先研究課題実施項目と課題別目標について

③その他

・みどり戦略に係る研究成果の取扱いについて

3) 第3回研究調整会議

期日：令和5年8月23日(水)10:30～、8月24日(木)9:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和6年度新規課題に係るヒアリング

②報告事項

(なし)

③その他

(なし)

4) 第4回研究調整会議

期日：令和5年9月15日(金) 13:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

・令和6年度経常研究費に係る新規課題予算について

②報告事項

・第4期戦略研究に係る検討経過について

・職員研究奨励事業の募集について

・研究開発推進費の応募経過について

③その他

・小麦種子生産体制の変更について

5) 第5回研究調整会議

期日：令和5年10月16日(月) 13:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

- ・成績会議における成果の判定区分について
- ・令和5年度北海道農業試験会議（成績会議）の開催日程（案）等について
- ・令和5年度成績会議に向けた対応について

②報告事項

(なし)

③その他

(なし)

6) 第6回研究調整会議

期日：令和5年12月14日(木) 13:00～

場所：Zoom 接続によるリモート開催

① 協議事項

- ・令和5年度北海道農業試験会議（設計会議）に向けた対応について
- ・「革新的技術導入による地域支援」の終了課題について
- ・農業研究推進事業における課題提案について
- ・第37回植物遺伝資源連絡委員会における協議結果について

② 報告事項

- ・令和5年度北海道農業試験会議（成績会議）の運営等について
- ・令和6年（第42回）農業新技術発表会の開催について
- ・農業資材試験及び公募型研究課題における企画関連事務費について

③その他

(なし)

7) 第7回研究調整会議

期日：令和6年2月21日(水) 13:00～

場所：中央農試講堂

①協議事項

- ・「革新的技術導入による地域支援」（経常(各部)）の進行状況について
- ・新規課題検討会を経なかった新規課題（受託試験研究課題等）の検討について
- ・次年度の成績会議に向けて

②報告事項

- ・次期戦略研究プロジェクト立案チームへの対応について
- ・令和5年度農業研究推進事業について

- ・令和5年度設計会議及び研究課題評価（中間・事後）に向けて

- ・令和5年度追加課題の課題別目標について

- ・公募型研究課題の令和5年度採択結果および令和6年度応募・採択状況について

③その他

(なし)

(3) 北海道農業試験会議

1) 新規課題検討会議

○ 北海道農業技術推進委員会において決定された重点的研究推進方針に基づき、令和6年度新規提案課題について検討し、農業研究本部として自己点検評価（事前評価）を行った。

部会の開催日程及び検討課題数

部会	日程	会場	課題数
作物開発	R5.7.6	自治労会館 4Fホール	16(5)
生産技術	R5.7.4～7.5	自治労会館 大ホール	18(15)
畜産	R5.6.29～6.30	畜試 講堂	20(7)
病虫	R5.7.5～7.6	プレスト1・7 ABCD会議室	13(13)
農業システム	R5.7.4	プレスト1・7 ABCD会議室	8(5)

※括弧内の数値は、検討課題数の内、新規課題数である。

2) 成績会議

各部会に提出され検討した課題について、総括会議で新農業技術として判定された結果は次のとおりであった。本会議における検討は、今年度終了課題における農業研究本部としての自己点検評価（事後評価）にも活用した。

		普及 奨励	普及 推進	指導 参考	研究 参考	行政 参考	保留 成績	完了 成績	合計
作物 開発	計	0	0	24	1	0	0	0	25
	(品種)	(0)	(0)						
生産 技術	計	0	0	13	0	1	0	1	15
	(品種)								
畜産	計	4	2	3	0	0	0	0	9
	(品種)	(4)	(2)						
病虫	計	0	0	63	0	0	1	0	64
	(品種)								
農業 システム	計	0	0	2	0	0	0	0	2
	(品種)								

3) 設計会議

北海道における農業関係試験研究機関が行う試験研究課題について、令和6年度の設計を決定するための専門部会を令和6年3月4日～3月8日にわたりWebにより開催した（秋まき小麦設計会議は8月31日、てん菜分科会は2月20日に開催）。各部会に提出された検討課題数は、次のとおりであった。本会議における検討は、農業研究本部における自己点検評価（中間・事後評価）にも活用した。

部会	分科会	課題数
作物開発	秋播小麦	31
	てんさい	12
	稲	22
	豆類	30
	麦類・特用作物	37
	除草剤	10
	馬鈴しょ	22
	果樹・野菜	17
	生産技術	65
	畜産	94
病虫	56	
農業システム	22	
合計		

(4) 地域農業技術センター連絡会議 (NATEC)

1) 令和5年度 第1回幹事会

日時：令和5年6月20日

場所：メールによる書面開催

参加者：14名 会長、副会長、幹事、監事、事務局
 議事：会員の動向、令和5年度研究情報交換会（帯広市、幕別町）の開催について、等

2) 令和5年度 研究情報交換会

日時：令和5年9月5日（火）14:00～16:30（研究情報交換会）

日時：令和5年9月6日（水）10:00～11:30（現地視察）

場所：幕別町農業振興公社

出席者：59名 地域農業技術センター、農業関係団体、道総研農業試験場等

内容：

「研究情報交換会」

第1部 地域農業技術センターの活動報告

・帯広市農業技術センターの取組事例について

帯広市農政部農政室農政課 課長補佐 畠山 貢 氏
 帯広市農業振興公社 生産技術部 部長 松原 照美

氏

・独自システムを活用した経営実態の把握と営農支援
 JA めむろ 営農部 農業振興センター長 長濱 修 氏
 ・土幌町農業試験センターの取組事例について
 JA 土幌町農産課 課長 井尾 諭 氏

第2部 話題提供

・十勝管内におけるバイオガスプラント消化液利用に係る課題解決に向けて

十勝総合振興局 産業振興部 農務課 企画係長 間所 拓也 氏

・バイオガスプラント消化液の特性と地域利用に向けた施用効果・課題の把握

十勝農業改良普及センター十勝西部支所 普及指導員 木村 繁久 氏

・土幌町消化液の広域高度利用畑作物への利用取組
 JA 土幌町畜産課 主任 数藤 敬太 氏

「現地視察」

・幕別町農業振興公社試験圃場見学

・JA 幕別の ICT 技術を活用した小麦等共同作業体系化の実用化実証

3) 令和5年度 第2回幹事会

日時：令和5年12月4日

場所：メールによる書面開催

参加者：14名 会長、副会長、幹事長、幹事、監事、事務局

・議事：令和5年度定期総会議案審議

4) 令和5年度 定期総会

日時：令和6年1月17日

場所：メールによる書面開催

参加者：会員

議事：令和5年度事業実績及び収支予算、令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、令和6年度役員改選（案）について、令和7年度以降のNATECのあり方についての検討等

5) 令和6年度 研究交流会

日時：令和6年2月14日（水）14:00～16:30

場所：かでの2・7

参集範囲：NATEC 会員、北海道農政部、道総研農業研究

本部、農業関係機関等（出席者 50 名）

内容:

〈講演〉

テーマ「北海道に侵入する新たな病害虫に備える&みどりの食料システム戦略への対応」

- ・「植物防疫法の改正と侵入警戒事業の実施について」

北海道病害虫防除所 主幹 橋 邦宏 氏

- ・「近年道内で発生した新たな侵入病害虫」

道総研 中央農業試験場 予察診断グループ 主査 野津 あゆみ 氏

- ・「みどりの食料システム戦略の実現に向けた技術」

道総研 中央農業試験場 予察診断グループ 研究主幹 西脇 由恵 氏

- ・「バイオスティミュラント資材の可能性～Dr.アミノアップの活用事例を踏まえながら～」

株式会社アミノアップ 取締役 産学官連携担当 小野 悟 氏

2. 情報システムの活用

(1) 道総研農業研究本部のホームページ（農業技術情報広場）の管理

各ページ作成、更新を行った。また、広く道民に対し、関係イベントの周知や研究成果の公開等、情報発信を行った。

(2) 中央農試ホームページの作成・更新

入札情報や公開データ情報など、広く道民に対して場業務等の情報公開や研究成果の公開等、情報発信を行った。

3. 図書・資料

(1) 受入状況（冊）

資料名	購入	寄贈	合計
単行本（国内）	0	42	42
単行本（外国）	0	0	0
逐次刊行物（国内）	252	272	524
逐次刊行物（外国）	55	5	60

(2) 資料提供

室外貸出 196件

4. 印刷刊行物

資料名	発行年月	頁数	部数
令和5年度北海道農業試験会議議事概要 令和5年度成績会議	R6.2	63	pdf配布
令和5年度北海道農業試験会議議事概要 令和6年度設計会議	R6.3	131	pdf配布
北海道立総合研究機構農業試験場集報第108号	R6.3	55	250
北海道立総合研究機構農業試験場資料第44号	R5.11	119	500

5. 広報活動

(1) 令和5年中央農業試験場公開デー

- ・日時：令和5年8月3日(木) 9:30～14:00
- ・場所：中央農業試験場庁舎、ほ場
- ・主催：中央農業試験場
- ・協力：北海道農政部、北海道病害虫防除所、道総研産業技術環境研究本部
- ・講演：岩見沢市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、JA いわみざわ、JA なんぼろ、JA そらち南、JA ながぬま、空知総合振興局
- ・来場者：227名(大人179名、子供48名)
- ・内容：試験ほ場のバス見学、場内探検ツアー、豆アート自由に作ってみよう、ドローンの展示、道総研の紹介(水田農業部、遺伝資源部、食品加工研究センター)、磁石の不思議な力、DNAを見てみよう、ハタケダ博士の北海道のクリーン農業紹介、黒豆の色が変わる実験、こむぎ粘土であそぼう、作物を育てる肥料の力、家庭菜園相談(病害虫診断、土壌診断、作物栽培)、北海道米「ななつぼし」(2合)のプレゼント

(2) 2023 サイエンスパーク(体験教室)

- ・日時：令和5年8月5日(土) 9:30～16:30
- ・場所：北海道大学フード&メディカルイノベーション国際拠点(FMI)
- ・主催：北海道、道総研、北海道大学
- ・参加：農研本部(中央農試 病虫部) 13:30～14:30
- ・内容：13:30～14:30(参加小学生8名：保護者同伴) 固まる液体「レジン」を使って、身近な昆虫を標本にして顕微鏡で観察してみよう!

(3) 2023 アグリビジネス創出フェア in Hokkaido

- ・日時：令和5年11月9日(木)～10日(金)
- ・場所：サッポロファクトリー(アトリウム会場)
- ・主催：NPO 法人グリーンテクノバンク
- ・共催：農研機構北海道農業研究センター、道総研
- ・参加：農研本部(中央農試、企画課)
※ 出展協力：十勝農試、北見農試
- ・内容：おうとう「陽まり」、ばれいしょ「ゆめいころ」、インゲン「秋晴れ」の研究結果と農研本部の紹介

(4) 令和6年道央圏農業新技術発表会

- ・日時：令和6年2月27日(火)
- ・場素：厚真町総合福祉センター

- ・主催：中央農業試験場
- ・後援：厚真町、JA とまこまい広域、北海道胆振総合振興局
- ・出席者：127名
- ・発表課題：口頭発表6課題、ポスター発表23課題
- ① 堆肥と肥料がひとつに！ 複合肥料の活用法
中央農業試験場農業環境部生産技術G 福川英司
- ② 多収米「そらきりり」の作り方
中央農業試験場水田農業部水田農業G 熊谷聡
- ③ 牛、馬、羊もこれ一本！ 放牧草地の施肥管理
農研機構北海道農業研究センター
寒地酪農研究領域自給飼料生産G 八木隆徳
- ④ めざせ！ そばの生産力向上 ～自らできる畑の土層改良～
中央農業試験場農業環境部環境保全G 須田達也
- ⑤ 効果的な秋まき小麦の赤さび病防除
中央農業試験場病虫部病害虫G 新村昭憲
- ⑥ 稲紋枯病・疑似紋枯症の発生実態及び防除方法の検討
北海道胆振総合振興局胆振農業改良普及センター
東胆振支所 竹内直洋

(5) 報道等

- ① ごはんビジネス Vol.25 令和5年5月
・内容：業務用米の需給動向の中で、令和6年産から流通が見込まれている新品種「空育195号」の紹介。いもち病抵抗性が強く、殺菌剤の散布を省略できる品種として、「きらら397」、「そらゆき」の後継品種として期待されている。
・対応者：中央農試 水田農業G 主査 山下 陽子
- ② GREEN No.316 令和5年4月
・内容：特集「種をつくる、種を届ける」
道内で生産される米、麦類、豆類の種子生産について、北海道優良品種の制度や生産者団体等による種子生産の取組みと、遺伝資源部が担う育種家種子の増殖・管理等の取組を紹介。
・対応者：生産者団体が既存情報の公表につき取材なし
- ③ 日本農業新聞 令和5年4月28日
・内容：4月27日開催の食品加工研究センター研究成果発表会において、加工利用部の研究成果「北海道らしさのある穀物の穀類粉と小麦粉のブレンド特性」について紹介。
・対応者：中央農試 農産品質G 研究職員 竹内 薫
- ④ 北海道新聞 令和5年8月4日
・内容：8月3日、4年ぶりに「公開デー」が行われ、研究内容や施設内部が公開された。夏休みの

家族連れらが「場内探検ツアー」や「子供向け各種実験コーナー」に参加し賑わった。

・対応者：各イベント担当課・研究グループ

⑤ 北海道新聞 令和5年9月13日

・内容：北広島市内では、寒冷地米「赤毛米」栽培の成功から150年を記念したバスツアーが開催。参加者は寒冷地米栽培の礎を築いた中山久蔵や赤毛米について学んだ。見学先の一つとして、中央農試水田農業部も紹介された。

・対応者：中央農試 水田農業部長 五十嵐 俊成

⑥ ウェザーマップ（ブログ）令和5年10月27日

・内容：農業関係者は『今年の北海道米はタンパク質含有率が高め』と受け止めている。その原因とプロセスについて、登熟期間の高温による影響等を紹介。

・対応者：中央農試 水田農業部長 五十嵐 俊成

⑦ 北海道新聞 令和5年11月20日

・内容：「きらら397」の後継として期待されている新品種「空育195号」の品種登録の出願は農水省により公示。耐病性や収量などの特徴も紹介。

・対応者：中央農試 水田農業G 研究主任 池永 充伸

⑧ 北海道新聞 令和6年1月16日

・内容：水稲新品種「そらきらり（空育195号）」開発の背景や品種の特徴などのほか、収量増や耐病性向上に向けた品種開発について紹介。

・対応者：中央農試 水田農業部水田農業G
主査 山下 陽子

⑨ 北海道新聞 令和6年1月18日

・内容：北海道内で作付されている酒米3品種（吟風、彗星、きたしずく）に続く品種開発を進めており、耐冷性を持ちつつ多収の新品種候補系統の育成状況について紹介。

・対応者：中央農試 水田農業部長 五十嵐 俊成

⑩ 北海道新聞 令和6年2月6日

・内容：園芸作物の栽培ハウスにおける土壌消毒法（還元消毒法や低濃度エタノール消毒法）の原理や特色などについて紹介。

・対応者：中央農試 病虫部病害虫G
主任主査 新村 昭憲

⑪ 日本農業新聞 令和6年2月15日

・内容：近年、道内での水稲の登熟機関における高温障害が現れているが、食味が良く、高温障害の出にくい品種開発を本格化させる予定。

・対応者：中央農試 水田農業部長 五十嵐 俊成